



【1回戦】 栗原市立金成中学校 (東北：宮城県) 対 岩国市立川下中学校 (中国：山口県)

川下中、好機を生かして得点を重ね初戦突破!
金成中、最終回に一矢報いるも、一步及ばず

【平成29年8月18日(月) サンマリンスタジアム宮崎 第2試合】

試合開始 13:48 試合終了 15:55 試合時間 2時間04分(中断3分)

チーム名		1	2	3	4	5	6	7					計
川下	山口県	0	3	0	1	0	0	0					4
金成	宮城県	0	0	0	0	0	0	1					1

球審 [根間] 塁審(一) [狩俣] 塁審(二) [松田] 塁審(三) [新垣]
 ◆バッテリー (川) 渡部一佐々木 (金) 鈴木凌、芳賀一干田聖
 ◆二塁打 渡部、坪島(川) 千田雄、芳賀(金)
 ◆三塁打
 ◆本塁打

【試合経過】

試合は、2回表川下中の攻撃から試合が動いた。6番弘中君、8番岡本君が四球で出塁・進塁し、二死2・3塁の得点機を迎えた。1番坂井君の打席に敵失で先制した。その後、3番渡部君の左前適時打で、2点追加し、リードを3点とした。さらに4回、安打と失策で無死1・3塁とすると、3番渡部君の犠飛で4対0とした。金成中は3回裏に1番千田雄大君の右中間2塁打、4回裏には6番佐々木礼君、8番芳賀君の連続安打や四球を絡めて、好機を迎えるもあと一本が出なかった。7回裏には、一死後、8番芳賀君、9番鈴木悠馬君の連続安打で好機を作り、1番千田雄大君の右前適時打で1点を返し追い上げをはかったが一步及ばなかった。川下中は先発の渡部君が121球で完投するなど、投打がかみ合い、見事に初戦を突破した。



【2安打3打点の川下中3番渡部君】



【2安打1得点と打線も引っ張った芳賀君】

【監督談話】 岩国市立川下中学校

岡田 直也 監督

全国の舞台ということで、最初は動きが硬かったが徐々に笑顔も見られ、自分たちの野球ができた。金成中さんも、まとまりのある好チームで気が抜けなかったが、3点先取できたことが大きかった。今日の勝利で、明日以降も試合をすることができるので、1日でも長くできるように、また明日も自分たちの野球ができればと思う。

【監督談話】 栗原市立金成中学校

高橋 康洋 監督

選手の一生懸命な姿を全国大会で見せることができたのはよかった。のびのびとプレーをさせてやれなかったのは、私の経験不足だった。先発の鈴木凌君が緊張して、ブロック大会ではなかったピッチングだった。ケガの影響から調整不足だった。最終回に1点取れたのはよかった。1・2年生は、この経験を生かしてほしい。

川下	打数	得点	安打	打点	犠打	四死	盗塁	三振
⑧ 坂井 大空	2	2	1	0	0	2	1	0
⑦ 中村 優一	2	0	1	0	0	2	0	1
① 渡部 晃誠	3	0	2	3	1	0	0	0
② 佐々木 優吾	2	0	0	0	0	2	0	0
⑤ 中司 和希	3	0	0	0	0	1	0	1
⑨ 弘中 聖輝	3	1	0	0	0	1	0	1
③ 坪島 海斗	3	0	1	0	0	1	0	0
⑥ 岡本 秀大	2	1	0	0	0	2	0	1
④ 嶋谷 陽生	4	0	0	0	0	0	0	2
計	24	4	5	3	1	11	1	6

金成	打数	得点	安打	打点	犠打	四死	盗塁	三振
③ 千田 雄大	4	0	1	1	0	0	0	1
⑤ 佐々木 智也	3	0	0	0	0	1	0	0
② 千田 聖	2	0	0	0	0	1	0	1
①7 鈴木 凌	3	0	0	0	0	0	0	1
⑥ 鈴木 祥	3	0	0	0	0	0	0	0
⑨ 佐々木 礼	3	0	1	0	0	0	0	1
⑧ 佐藤 大空	2	0	0	0	0	1	0	0
⑦1 芳賀 友哉	3	1	2	0	0	0	0	0
④ 鈴木 悠馬	3	0	1	0	0	0	0	0
計	26	1	5	1	0	3	0	4

投手氏名	回数	打者	投球数	安打	四死	三振	失点
渡部 晃誠	7回	29	121	5	3	4	1

投手氏名	回数	打者	投球数	安打	四死	三振	失点
鈴木 凌	1回 2/3	11	59	1	6	2	3
芳賀 友哉	5回 1/3	25	110	4	5	4	1

